

平成二十七年 度前期 選抜 学力検査

国 語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

- 意**
- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
  - 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
  - 三、問題は、**1** から **3** までで、**六** ページにわたって印刷してあります。

なお、問題用紙のほかに**別紙**があります。

- 注**
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
  - 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
  - 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の(一)～(七)の各問いに答えなさい。(二十一点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

① 機械を制御する。 ② 料理の腕前を試す。

③ 型紙に合わせて布地を裁つ。 ④ 港から船のきてきが聞こえる。

⑤ 容器をみっぺいする。 ⑥ 屋根に雪がつもる。

(二) 次のAの文の二重傍線部分のカタカナと、下のア～エの傍線部分のカタカナを漢字に直すとき、二重傍線部分と同じ漢字を使うものはどれか、最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

A 動物の生態をカン察する。

- ア、早寝早起きが習カンになる。
- イ、カン単には解決しない。
- ウ、名所をカン光してまわる。
- エ、作品がカン成する。

(三) 次の①、②の文の傍線部分と用法・はたらきが同じものはどれか、最も適当なものを下のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 友だちと駅で待ち合わせる。

- ア、休日は家でくつろぐ。
- イ、自転車で買い物に行く。
- ウ、彼はにぎやかで元気な人だ。
- エ、文化祭の準備で忙しい。

② 彼女は練習を休まない。

- ア、なにげない言葉に励まされる。
- イ、大会当日まで一週間もない。
- ウ、今日は列車の乗客が少ない。
- エ、試合終了まであきらめない。



別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十七点)

(一) 傍線部分(1)「幼虫」とあるが、「幼虫」という熟語はどのような構成か、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、上の漢字の意味と下の漢字の意味が対になる  
 イ、上の漢字が下の漢字を修飾する  
 ウ、上の漢字と下の漢字が主語と述語の関係にある  
 エ、上の漢字の意味と下の漢字の意味が似ている  
 オ、下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す

(二) 傍線部分(2)「少しぐらい暖かい年でも寒い年でもそれほど変わらない」とあるが、何がそれほど変わらないのか、本文中の言葉を使って書きなさい。

(三) 文中の **A** に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、つまり      イ、ところで      ウ、すると      エ、しかし

(四) 傍線部分(3)「ナミアゲハとモンシロチョウの食べる植物の性質」とあるが、ナミアゲハの幼虫が食べる植物とモンシロチョウの幼虫が食べる植物には、それぞれどのような性質があるか、本文中の言葉を使って説明しなさい。

(五) 傍線部分(4)「もはや」の本文中での意味として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、かろうじて      イ、ずいぶん      ウ、すでに      エ、まもなく

(六) 傍線部分(5)「そんな同情すら感じてしまった」とあるが、この部分を単語に分けるとどうなるか、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、そんな／同情すら／感じ／て／しまった
- イ、そんな／同情／すら／感じて／しまった
- ウ、そんな／同情すら／感じ／て／しまつ／た
- エ、そんな／同情／すら／感じ／て／しまつ／た

(七) この文章の内容に合うものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、もともと北方のチョウであるナミアゲハの幼虫は、寒さに強く、真冬の暖かい昼間には、もぐもぐとキャベツの葉を食べている。
- イ、ナミアゲハが休眠サナギになるかどうかは、温度できまっておき、二十度より温度が高い日が続くと、休眠サナギになってしまう。
- ウ、モンシロチョウの幼虫が休眠サナギになって翌春まで眠ってすごすか、非休眠サナギになるかは、日長ではなく、温度できまる。
- エ、冬の終わりにサナギになったモンシロチョウの幼虫は、休眠サナギになり、目醒めに必要な寒さが得られず、チョウにはなれない。

(次のページへ) ←

次の【原稿】は、中学生のみどりさんが、読書についてのスピーチをするために書いたものである。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

## 【原稿】

今から、読書について、お話をします。

私は、読書が好きです。私が読書のおもしろさを実感するようになったのは、一冊の本との出会いがあったからです。その本は、家族から紹介されたものでした。それまでは、読書があまり好きではなかったのですが、読み始めてみると、その本の内容に引き込まれ、無我夢中になりました。このことがあってから、私は読書が好きになり、読書の量も増えました。

私は、読書のよさは二つあると思います。

一つは、新しい知識を得られることです。将来就きたいと思っている職業について書かれた本を、以前に読んだことがあります。そのとき、その職業の詳しい内容ややりがい、その職業に就くためにはどうすればよいかなどがわかりました。

もう一つは、多くの感動を味わえることです。例えば、小説を読んでいて、登場人物の周りで起きたできごとが自分の体験したことと重なるなど、その登場人物の気持ちに手が取るようにわかります。そして、私も、登場人物と同じように、うれしくなったり、悲しくなったりするなど、さまざまな感動を味わえるのです。

このように、私は、読書には二つのよさがあると思いますが、読書のよさは、私が今お話をしたことだけではないと思います。皆さんは読書のよさとは、どのようなものだと思いますか。私たちにとって、読書は大切なものです。だから、私は、たくさんの人にもっと読書をしてほしいと思います。

(一) 波線部分「無我夢中」の意味として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、計り知れないほど心に深く感じて、胸がいっぱいになること。  
 イ、一つのことにつき心をとらわれ、他に何も考えないこと。  
 ウ、喜び、怒り、悲しみ、楽しみなどの感情をあらわにすること。  
 エ、他人の気持ちにかまわず、勝手気ままなふるまいをすること。

(二) 傍線部分「読書のよさは二つある」とあるが、みどりさんが読書のよさとして書いた二つのことを、【原稿】の中から、それぞれ十二文字で抜き出して書きなさい。

(三) 二重傍線部分「たくさんの人にもつと読書をしてほしいと思います」とあるが、あなたは、たくさんの人にもつと読書をしてもらうためには、どのようにすればよいと考えるか、あなたの考えや意見を、「作文の注意」にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの考えや意見と、その根拠を明確にして書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方が正しい、全体を三百字以上四百字以内にまとめなさい。